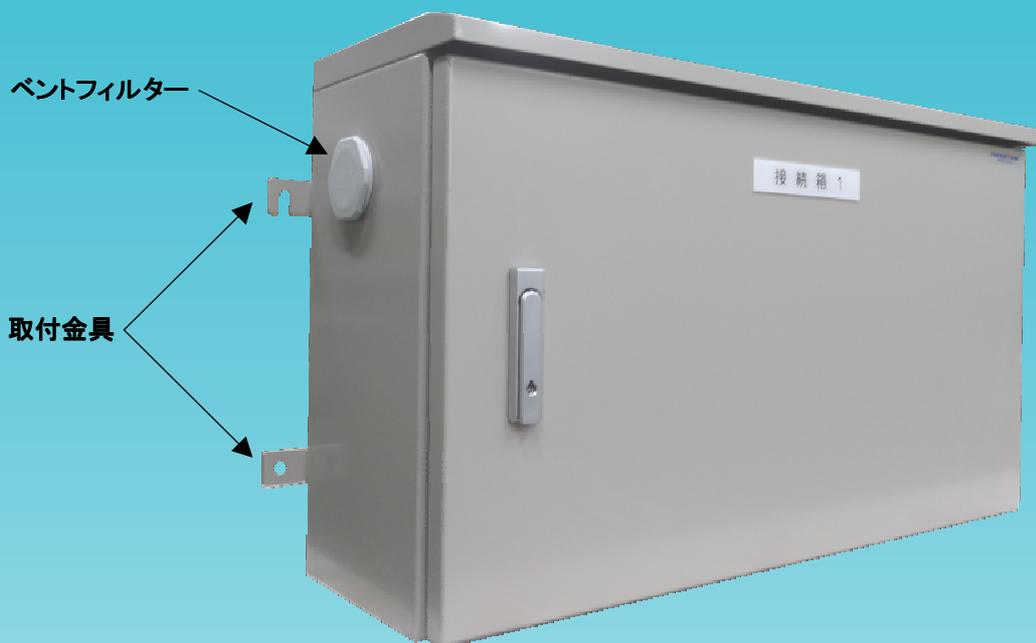


# Junction Box of Next Generation

DC1000Vシステムに対応した接続箱

システム電圧を上げてコストを削減



## ・大幅なコンパクト化 (14回路: W800×H480×D265)

構造の見直しやアルミ板を使用することでコンパクトな接続箱を実現しました。

## ・結露対策

日本ゴア製のベントフィルターを取り付けることで内部結露を抑制しています。

## ・取付金具付

引っ掛けることもできる取付金具が標準で付いていますので、施工時に役立ちます。



システム電圧を上げ、太陽電池の並列数を減らすことで、  
接続箱や配線の数が減り、設備の初期コストが削減可能です。

※600Vシステムと比較して接続箱やケーブルを**最大40%程度**の削減可能

- ・太陽光発電システムは電圧を高くすることで、送電ロスも低減されます。
- ・設置面積の減少や、機器の数が減ることでメンテナンス作業の削減効果も見込めます。

**Kansai >enki**

関西電機工業株式会社

大阪府東大阪市新喜多1丁目6番30号 / 〒577-0052

TEL. 06-6788-0111 FAX. 06-6788-0147

<http://www.e-kansai.co.jp/>

問合せ先:

# DC1000V対応接続箱の仕様

## ●主要規格

最大入力電圧	DC1000V
最大入力電流	DC10A(1回路あたり)
入力回路数	4~18回路
環境温度	-10~40℃(結露なきこと)
保護等級	IP44

## ●BOX性能

本体の材質	鋼板またはステンレス
本体の厚み	鋼板:1.6t以上 ステンレス:1.5t以上
内部機器取付板	鋼板 2.3t
塗装 <御指定色は別途対応>	標準は粉体塗装 色:5Y7/1(ページユ)

- ・出力側はDC1000V用MCCB、または端子台による一括出力を選択可能です。
- ・入力側にはDC1000V対応の直流開閉器を使用。  
最大開閉能力はDC1000V 10A。(抵抗負荷)  
通電中でも、回路の遮断や投入が可能です。
- ・内部の主回路配線はDC1500V対応のWL2電線を使用。(最高使用温度90℃)
- ・逆流防止ダイオードは新型のDC1000V対応品を使用。(最大定格:DC2000V)
- ・内部にクラスII SPDを標準で共通部に1ヶ所設置。(Up:4kV)  
バリスタ(MOV)に変更も可能です。
- ・日本ゴア製のベントフィルターは、水やほこりを通さないが水蒸気や空気は通すパーツです。  
箱体内部からは水蒸気を出して結露を抑制し、外部からは水やほこりの侵入を防ぐ構造なので、  
IP65、66、67、69Kを満たしており、接続箱の防水性能には問題ありません。

## ●御願い

- ・直射日光の当たらない場所での設置を推奨します。
- ・その他、御要望がございましたら、ご相談ください。

# DC1000V対応接続箱の検証

## ●DC1000Vでの絶縁距離

空間距離 14mm以上 沿面距離 16mm以上

## ●絶縁抵抗試験・耐電圧試験

「JEM1493:太陽光発電システム用接続箱及び集電箱」「JEM1460:配電盤・制御盤の定格及び試験」に準拠

絶縁抵抗値	耐電圧試験
5MΩ以上 (1000Vメガにて)	AC3000V 1分間(2E+1000V)

## ●耐インパルス試験

「JIS C60664-1:低圧系統内機器の絶縁協調—基本原則, 要求事項及び試験: 付属書F 表F1 回路電圧1000V」に準拠

インパルス試験電圧	備考
AC8000V (正・負極性別に各3回 充電部と 非充電金属部間に印加)	・過電圧カテゴリⅢ (固定設備内の機器) ・型式試験のみ実施

